

鯨かねさか 大将

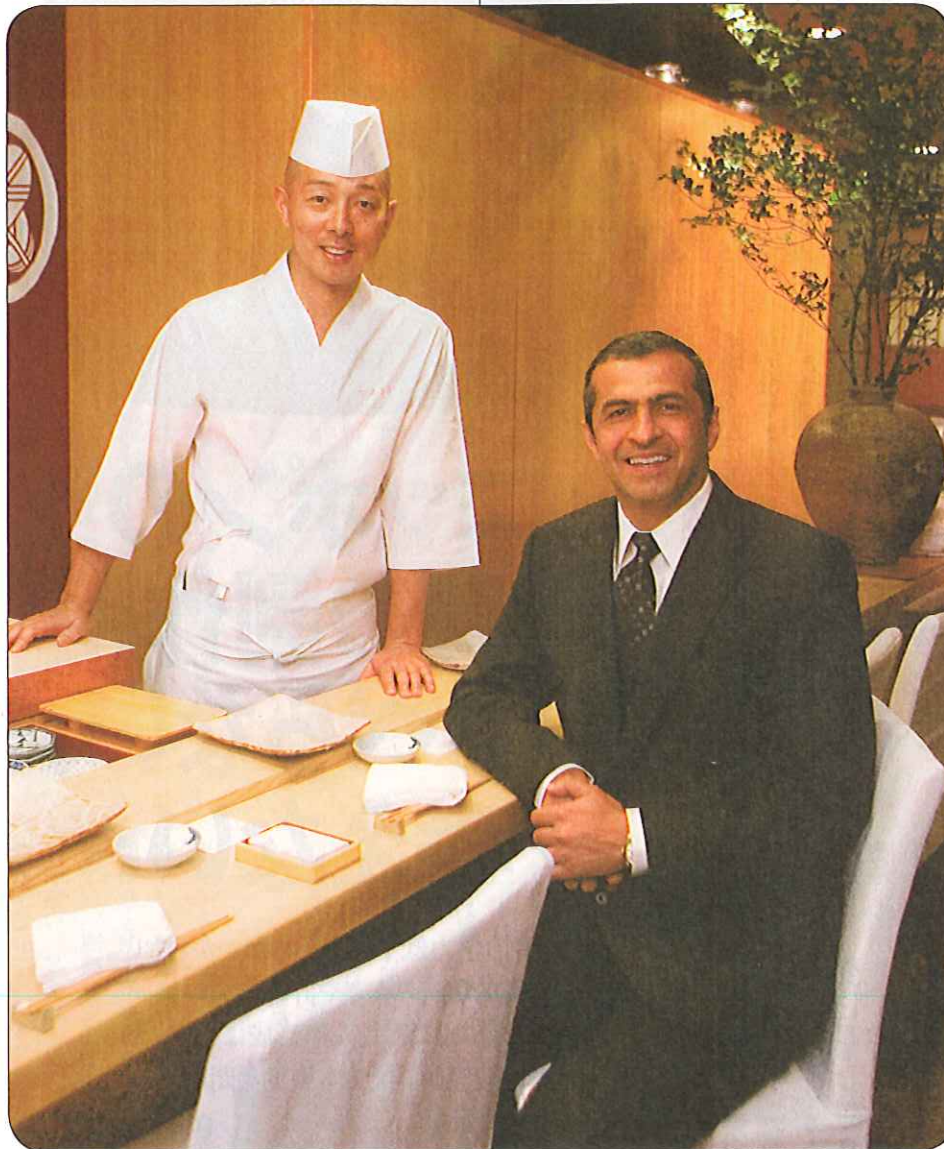
金坂真次 × ナレッシュ・セティ

BATジャパン社長

Shinji Kanesaka

Naresh Sethi

感謝する心



人間邂逅

human chance meeting

東京・銀座にある「鯨かねさか」の店内で。

二

年前、NPO法人、ハンズオン東京の活動で知り合いました。これは、さまざまな国籍の人が集まり、清掃活動、老人ホームの訪問、寄付などの活動を通じて、何らかの形で社会に還元することを目的にした組織です。私たち夫婦も日本からいただいた恩恵に感謝し、社会にお返しすべく参加しています。それ以来の仲ですが、ウニやウナギなどネタの話聞きながら、金坂さんが握る鯨を味わう時間は最高で、アートをそのものです。金坂さんは三八歳にして、すでに独立したお弟子さんたちの店を合わせるとミシュランの星七つを保有する凄腕の鯨職人です（三つ星の「鯨さいとう」、二つ星の「鯨かねさか」、一つ星の「鯨いわ」「すし屋真魚」）。銀座の名店久兵衛で一〇年間修業し、独立して同店を開店、今年八月にはシンガポールの名門ラッフルズホテルに出店した青年実業家でもあります。今年六月、ハンズオンの主催で、金坂さんがガイド役を務める「築地市場ツアー」に参加しました。活気溢れる市場内の九店を回って、行きつけの仲買人から、それぞれ極上のネタを買い付けるのです。その帰りに、市場横の神社に寄った金坂さん。「活魚塚」の前でじっと手を合わせる姿から、人間としての優しさ、何事にも感謝する心を感じました。歌舞伎役者の海老蔵さん、現代美術家の村上隆さんなども絶賛する金坂さんの腕と人間味に惚れました。近々、私たちのインド料理も味わっていただきたいです。（セティ）